

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（52 2115）までお知らせください。

長寿医療制度のお知らせ(後期高齢者医療制度)

医療費の自己負担額が高額になったとき 高額療養費を支給します

1ヵ月に支払った医療費の自己負担額が限度額を超えた場合は、高額療養費として限度額を超えた額を支給します(限度額は、【表1】のとおりです)。

該当する方には、口座に振り込む前に支給決定通知書でお知らせします。

また、該当する方のうち、まだ振込口座を登録していない方には申請書を送付しますので、役場保健福祉課介護医療係に提出してください(申請書を一度提出すると、その後は自動的に口座に振り込まれます)。

【表1】高額療養費の自己負担限度額(月額)

所得区分	外来の限度額 (個人ごと)	外来+入院の 限度額(世帯ごと)	
現役並み所得者	44,000円	80,100円+1%	1
一般	12,000円	44,400円	
住民税 非課税 世帯	8,000円	区分	24,600円
		区分	15,000円

1 医療費が267,000円を超えた場合は、超えた分の1%が加算されます。

また、過去12ヵ月の間に、外来+入院の支給を4回以上受ける場合、4回目以降の限度額は、44,400円です。

入院したときの費用～食費や居住費がかかります

入院したときは、かかった医療費の自己負担額のほかに、食費を自己負担します【表2】。

なお、療養病床に入院したときは、食費と居住費を自己負担します。

【表2】入院したときの食費および居住費

所得区分	入院したとき		療養病床に入院したとき	
	1食あたりの 食費	1日あたりの 居住費	1食あたりの 食費	1日あたりの 居住費
現役並み 所得者	260円	320円	460円	320円
一般	260円	320円	460円	320円
住民税 非課税 世帯	区分	210円 (90日を超える 入院は160円)	210円	320円
	区分	100円	130円 (老齢福祉年金 受給者は100円)	320円 (老齢福祉年金 受給者は0円)

2 住民税非課税世帯(区分・の方)は、入院の際に「限度額適用・標準負担額減額認定証」が必要になりますので、役場保健福祉課介護医療係に申請してください。

問い合わせ先
役場保健福祉課介護医療係 ☎52 2211
北海道後期高齢者医療広域連合 ☎011 290 5601



中学3年生が南富良野高校 に体験入学 (9月3日)

来春に高校進学を控えた中学3年生に、南富良野高校の魅力を紹介しようと、同校で体験入学が行われ、南富良野中学校をはじめ富良野沿線市町村の生徒49名が参加して、高校生活を体験しました。

学校紹介では、学習上の特徴である習熟度別学習や類型選択授業についての説明や、学校生活と部活動についてスライドにより紹介が行われました。また、南富良野高校で実施している国際交流事業について、本年度参加した生徒からの発表もあり、参加した中学生は熱心に耳を傾けていました。体験授業では、音楽や情報処理などが行われ、少々緊張ぎみの中学生の皆さんは、真剣な眼差しで与えられた課題に取り組んでいました。



ファイターズに熱い声援を送る (9月14日)

北海道日本ハムファイターズ南富良野町応援団(植村通彦団長)による公式戦応援ツアーが開かれ、札幌ドームで行われた対オリックスバファローズ戦を観戦しました。応援ツアーには、小中学生を含む団員26名が参加し、内野席から応援メッセージのボードを掲げて、上位進出を目指して負けられない戦いが続くファイターズに熱い声援を送りました。試合は、打撃戦の末、ファイターズが見事に逆転勝利を飾り、応援団の皆さんは大興奮でした。

応援団では、日本ハムファイターズを応援したいという町民の皆さんを募集しています。詳しくは、応援団事務局(役場産業課:小室・永井☎52 2178)までご連絡ください。



落語、曲芸、紙切り 多彩な演目を堪能 (8月25日)

町公民館本館事業として、社団法人日本落語協会主催の「寄席演芸公演」が、幾重小学校の体育館で行われ、町内の児童生徒や老人クラブの皆さんなどが集まり、落語家が披露する落語や曲芸、紙切りなど多彩な演目を堪能していました。

公演は、出陣子の演奏に始まり、入船亭遊一さんの落語では、子どもたちにも分かりやすい内容で、お寺の小坊主の話が披露され、会場は笑いの渦に包まれました。曲芸では、鏡味仙三郎社中のお2人が傘でまじりや柗を回す芸などが披露され、その見事な技術に、子どもたちも驚いていました。林家正楽さんの紙切りでは、児童からのリクエストに応じて、ライオンやカブトムシ、ドラえもんなどの作品を次々と作り上げ、その出来上がりには子どもたちも大喜びで、大きな拍手を送っていました。

雨にも負けず子どもたちが元気に グラウンドを駆け回る (9月7日)

町子ども会育成連絡協議会(大久保義隆会長)が主催する「第9回スポーツ交流会」が山村広場で行われ、子ども会に所属する小中学生60名が参加して、小学生の部と混成の部に分け、キックベースボールで交流を深めました。

この日は、途中雨が降りぐずついた天候となりましたが、参加した子どもたちは力いっぱいボールを蹴り上げ、元気にグラウンドを駆け回っていました。

競技の結果、小学校の部では北落合・落合地区の子どもたちで編成した「ブラックアドベンチャーズ」、混成の部では金山地区の「金山キッカーズ」がそれぞれ優勝しました。



川や湖でのレスキュー方法を学ぶ (8月30日・31日)

北海道教育委員会の主催による平成20年度アウトドアスポーツ指導者養成講習会が行われ、道内市町村教育委員会の担当者や教員など30名が参加して、安全性の確保に配慮した川や湖での指導方法やレスキュー方法などを学びました。

初日には、NPO法人どんころ野外学校のスタッフによるアウトドアの安全とリスクについての講義が行われたほか、かなやま湖でのカヌーの実技やロープワークなどの講習が行われました。

翌日には、会場を空知川に移動し、川に流された人の救助方法などについて実技が行われ、参加した皆さんは真剣な表情で取り組んでいました。